

独禁法違反要件の構造

(独禁法講義〔第5版〕の内容の図解 白石忠志作成 ver.1.01 2011-05-12)

競争停止行為

競争者同士
の共同行為 それ以外

他者排除行為

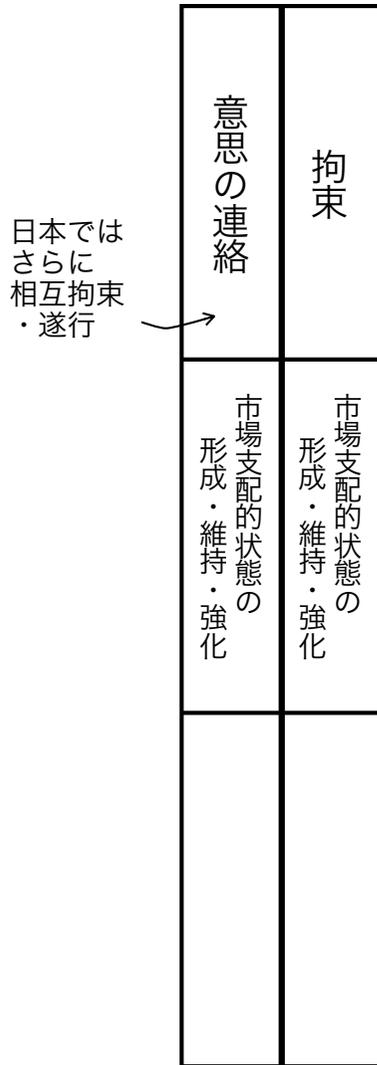
不公正な取引方法 私的独占

搾取行為

行為要件

反競争性

正当化理由



【取引拒絶系】
代替的競争手段がないことが
間接事実となる

【略奪廉売系】
JAAC未満であることが
間接事実となる



日本では
排除効果が
2条5項の
「排除」の
不可欠な
要素として
混入

排除効果
があることが
間接事実



取引必要性説
なら
市場支配的状態
と同質

日本では競争の実質的制限・公正競争阻害性という文言で表現

弊害要件

「市場」は反競争性・正当化理由の成否を判断するための土俵